

令和4年度入学 一般選抜前期日程
外国語（英語） 講評

第1問

【出題のねらい】

文の構造，文法，語彙を理解した上で全体の内容を把握できるかを問う読解問題である。

【講評】

全体的に5割程度の正答率だった。全体の内容を正確に理解できていない受験者がみられた。

問1

関係詞，語彙，前置詞を問う問題であったが，全体的に非常によくできていた。

問2

満点をとる受験者は少なかった。解答する上で重要なポイントである「（小説に出てくる）架空の都市」を「イタロ・カルヴィーノの出身地」と解釈している解答が散見された。また，clayやunitingの誤訳や文章の大意を掴むことができず，単語の訳を羅列するだけの解答も目立った。英文の大意を掴めるよう学習することが望まれる。

問3

「コンクリートよりも早く乾くこと」，「高さの制限があること」の2つを記載できている受験者は少なかった。特に，height limitationの部分では，「重量制限」，「たくさんの限界がある」といった解答が散見された。また，ハイフンの使い方を理解していない受験者が多く，本文内での意味は「プリントするのに200時間かかる」であるが，「コンクリートが乾くのに200時間かかる」，「コンクリートを修飾する」といった解答も散見された。

問4

和訳問題だったため，白紙解答はほとんどなかった。また，本文の最初から順序良く和訳していけば大意を把握しやすく，問題の難易度はそれほど高くなかった。そのため，今回の得点には，文構成よりも英単語の意味や語法の理解不足が大きく影響したと思われる。

「any (some) ～ = いくつかの～」という逐語訳が多く，文意に沿った適切な和訳ができていない解答が目立った。また，necessarily（副詞）をnecessary（形容詞）と混同し，「～の必要がある」と和訳している解答が非常に多かった。

問 5

全体的に正答率が非常に低かった。選択肢一つ一つを文章に照らし合わせて慎重に確認することが大切である。

第 2 問

【出題のねらい】

文章を読み、大意とその論理展開が理解できるかを問う問題である。

【講評】

全体的に 5 割程度の正答率だった。

第 3 問

【出題のねらい】

基本的な英文法及び基本語彙の用法を理解し、英語で表現する際に応用できるかを問う空所補充の問題である。

【講評】

全体的に 5 割程度の正答率だった。

問 1

アパートを探す話であったが、お金をどのようにして稼ぐかについての話であると間違えて捉え、大意を的確に理解していない解答が散見された。②の正答率が最も高かった。また、多くの受験者が“California”と言う単語に惑わされた解答をしていた。

問 2

②は、「Do you have a towel?」が正答であったが、文脈を理解できていない受験者が散見された。③に関しては、様々な解答がみられた。「rent=費用料を払って借りる」, 「lend=人にものを貸す」, 「borrow=人からものを借りる」の違いがわかっていない解答も多くみられた。④は最も正答率の低い問題であった。

第 4 問

【出題のねらい】

場面に応じた日常会話表現の理解を問う問題である。多様な場面において、広範な話題に適した表現で対応できる力をみることをねらった。

【講評】

全体的に 7 割程度の正答率だった。会話文を読み、設定された状況を正しく想像することができれば、正しい解答を導き出すことができる。日頃から多くの会話文を音読する習慣をつけることが望ましい。

第 5 問**【出題のねらい】**

本問題は、提示されている条件に従い、題目に関する自身の意見を、自身の立場を明らかにした上で、述べることができる力をみることをねらった。

【講評】

全体的に 4 割程度の正答率だった。多くの受験者が限定された文法や語彙のみを使用していた。共通してみられた文法の間違ひは、名詞の複数形の『s』の付け忘れ、比較級・最上級の間違ひなどの初歩的な文法項目であった。これらの文法に関しては、提出前に確認し、間違ひのないようにすることが望まれる。また、例えば、「safety」と「safe」、
「convenience」と「covenient」など、名詞と形容詞の品詞の混同も散見された。